



第1号

高知県立高知国際中学校だより

高知県立高知国際中学校

〒780-8052 高知県高知市鴨部2丁目5番70号

高知県立高知国際中学校が開校いたしました。



平成30年4月8日（日）高知県立高知国際中学校の開校式並びに入学式が行われました。

開校式では、伊藤博明県教育長により、本校の開校が宣言されました。

第一期生となる中学生60名を迎え、これから高知国際中学校が新たなスタートを踏み出します。

ご入学おめでとうございます（ご挨拶） 校長 森本民之助

穏やかな春の中で、多くの来賓や保護者の皆さまをお迎えし、平成30年度第1回高知県立高知国際中学校入学式を開催できたことをうれしく思います。また、この度、本校に入学した60名を支えてくださった方々にもたいへん感謝いたします。この新しい中学校の始まりには多くの方々の思いや期待が込められていることを、私たちは十分に承知し、新しい歴史を創りあげてまいります。どうぞよろしくお願いたします。

入学にあたって2つのことを申し上げます。

1つは「学校は学ぶところ」ということです。私たちは、将来、社会の一員として自ら責任を果たしながら、周囲の人々と共に力を合わせて幸せに暮らし、自分の人生を豊かにしていきます。そこには「学び」、「考え」、「行う」の基本を身に付けることが重要です。この基本を身に付け、学んだことが思考や行動に有意に結びつく多くの経験を、多感な時期にしておけば、将来、物事を深く知り、人や組織や社会のあり方を思い、正しく行動することにつながります。本校には自らが考え自発的な行動を促す機会が多くあります。その機会を上手く捉えてください。さらに述べると、学ぶことは喜びです。学ぶことは楽しいことです。そして自分が学んだことを誰かのために使えることは、もっとも喜びにあふれた幸せなことです。学ぶ喜びは、単に新しい知識が増えるということだけではありません。自分が成長していることを実感できる喜びであり、学びで得た力を誰かのために使い、役に立てるということは、まさに「人」として生きることの根源的な喜びです。学ぶということがいかに人生を意味のあるものにするか、このことも忘れないでください。

2つは「グローバルな視点で考え、行動しよう」ということです。これからの社会は変化が激しく先を見通しにくい時代ですが、情報化やグローバル化の進展は、未来を創造し世界に人間関係を構築する機会を与えてくれます。インターネットが普及し、多くの知識や情報はとても簡単に、また、瞬時に手に入れることができるようになりました。ですがグローバルとはインターネットを通じてつながることだけでなく、世界に自分の人間関係を構築できるということ。勇気の翼によって新しい世界に飛び立ちましょう。私たちと異なる価値観の文化との交流をためらわないでください。私たちの文化に誇りと自信をもち、異なる価値観の文化を尊重し、ともに新しい秩序を創り上げていきましょう。私たちの世界は広がります。私たちがこれから意識して飛び出すフィールドは地球なのです。さあ、皆さん、その顔をあげて、今日から、この新しい高知国際中学校で、心豊かにときめく中学校生活を創りあげていきましょう。

高知県知事をはじめ多くの来賓の方々からのメッセージをいただきました。

開校式の祝辞では、尾崎正直知事が「第1期生の皆さんが歩む道が新たな学校の歩む道となる。高知国際中学校での学びを通じて夢がかなっていくよう祈念したい」と述べられました。また、高知県立高知南中学校・高等学校校友会会長 秋本洋雄様、高知県立高知西高等学校校友会会長 岡崎豊様より、開校にあたってのご祝辞を頂きました。最後に、東京学芸大学 佐藤正光教授から、新入生と保護者に向けた激励の言葉を頂き、今後の学校生活に向けて多くのエールをいただいた開校式となりました。



〔祝辞を述べる尾崎知事〕

入学生代表 宣誓（加治木 文音さん）

やわらかな春の日差しと暖かい風に包まれた今日、私たち新入生 60 名は、高知国際中学校の第1期生として、入学の許可をいただきました。入学にあたり、ごあいさつのはじめに、たくさんの方々への感謝の気持ちを述べさせていただきます。まず、学校の開設にあたり環境を整えてくださった学校関係のみなさま、素敵な校舎を建ててくださった工事関係のみなさま、そして、私たちを笑顔で見守ってくれた、家族のみなさま。他にもたくさんの方々のご理解とご協力をいただいて今日の日があるのだと思います。本当にありがとうございました。

私たちが入学したこの学校は、今日開校したばかりの真新しい学校です。そして、その学習方法は、国際的な水準である IB 教育プログラムにのっとって行うという、全国でも珍しい学校です。そのような学校の最初の入学生になれたことを、大変幸せに思います。どのように学び、どんな可能性がひらけてくるのか、夢と希望で胸が高鳴ります。

これから始まる中学校での生活は分からないこと、未体験のことがたくさんで、夢と希望の反面、不安もあります。しかし、学びは一人でするものではなく、仲間たちと協力して、楽しみながら進めていくものだと思います。困った時や、迷った時には、先生方のご指導のもと、ここにいる 60 名が、お互いに助け合い、知恵を出し合って解決していけると、信じています。そして、楽しみながら、迷いながら、日々進める一步一步が、この高知国際中学校ならではの文化をつくっていくのだと思います。ここで、新入生を代表して、私の気持ちを世界で一番短い詩で表したいと思います。

『夢えがき 友と手を取り 一歩ずつ』

私たちの判断と行動の一つ一つがこの学校の評価となり、歴史となります。支えてくださるたくさんの方々と、高知国際中学校の名に恥じないよう、精一杯頑張っていきます。また、新しい出会いを大切にして、自分と異なる考えの人にも、それぞれの正しさがあり得ると認め、友となることができる人として、感謝を忘れず、楽しく、そして、積極的に学んでいくことを、ここに誓います。

平成 30 年 4 月 8 日

高知国際中学校 教職員より

保護者の皆様、ならびに新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。皆さんの踏み出す第一歩が、生まれたてのこの中学校の第一歩です。この学校を、仲間を、自分を、ぜひ育てていってください。私たち教職員はそのためのサポートを全力でしていきます。ともにベストを尽くしましょう。

第1期生 第1学年 学年主任 堀 謙一



〔クラス開きの一コマ〕

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。高知国際中学校は、皆さんの「探究したい!」、「地域や社会に貢献したい!」という思いが実現できる学校です。失敗を恐れずに、どんどんチャレンジしていきましょう。これからよろしくお願いします。 1年Aホーム担任 重森 健介

入学おめでとうございます。皆さんは高知国際中学校の「可能性」です。皆さんが高知国際中学校をつくっていくのです。自分の言動に責任を持ち、何事も丁寧に取り組んでいきましょう。共に過ごせることを幸せに思います。1年間よろしくお願いします。 1年Bホーム担任 中野 久美子

集団宿泊研修に行ってきました！

4月18日（水）～20日（金）の3日間、高知県青少年センターにて集団宿泊研修を実施しました。

入学してまだ2週間。緊張もある中、香南市野市町にある県立青少年センターで2泊3日の宿泊合宿を行いました。この合宿の目的は、大きく2つ。まずは、集団生活の中で、お互いをよく知ること。そして探究・行動・振り返りの「探究のサイクル」を回してみることに。

探究活動の一環として、2日目には地元で活躍されている方々10名をお招きしてインタビュー活動を行いました。事前学習として、出発前の4月12日（木）と17日（火）に、高知新聞社の高本浩史記者を講師にお招きし、インタビューの基本とメモの取り方のコツを教わりました。

本番では、グループで事前に決めていた「魅力×〇〇（各班のテーマ）」を柱に質問。複数回のインタビューの合間には、iPadでの録画を見て振り返り、次のインタビューの改善につなげました。



[講師から説明を聞く]



[インタビューの作戦を立てる]



[聞き取りのまとめを発表する]



[出来上がったカレーを食べる]

今回の研修のテーマは「共に活動！共に楽しむ！二泊三日の宿泊研修」でした。三日間天気にも恵まれ、ほとんど予定通り活動できたことは大変喜ばしいことでした。二日目のインタビュー活動では時間がない中、精一杯質問を考え、中間発表では大変すばらしい発表となりました。今回の研修で築いた絆、学んだことをこれからの生活に生かしていきたいと思ひます。

宿泊研修実行委員長 1年Aホーム 三上 輝

今回の宿泊研修では、主に仲間づくりと探究の基礎作りを目的としてきました。その中でも特に苦労したことはインタビュー活動です。役割を決めたことで少し楽になりましたが、メモを取るのには難しかったです。

一方、仲間と協力して作ったカレーは今まで食べたカレーの中で一番おいしかったです。そして、学校でも宿泊研修で学んだことを生かし、一人ひとりが活躍していきたいと思ひます。

宿泊研修実行委員

1年Bホーム 和田 香春



[飯ごうでお米を炊く]